

## 事例報告 1 「マナーキッズテニス教室の体育授業採用の波及効果」(東京都杉並区教育委員会「市町村教委 2006 年 5 月号」から抜粋)

「あいさつプロジェクト」

三谷小学校では、平成 17 年度から杉並区教育委員より「地域運営学校」という指定を受け、学校・家庭・地域が一体となつての学校づくりを目指しています。試みの一つとして「あいさつプロジェクト」を立ち上げました。子どもたちの健全な育成と安全・安心な街づくりを願い「まずは、あいさつから」に取り組みました。

「あいさつ授業」

マナーキッズテニス教室の授業の最初に行われる小笠原流礼法鈴木万亀子総師範の授業は、三谷コミュニティー・スクールの「あいさつプロジェクト」にあいまって、子どもたちのあいさつ向上に役立ちました。引き続き行われるテニスの授業では、スポンジボールを使って、元デビスカップ日本代表などの経歴の皆さんから手ほどきを受けました。鈴木総師範から習ったばかりのあいさつで「よろしくお願ひします」「ありがとうございました」と元気よくあいさつをし、コートの中を走り、ボールを追いかけます。体育館の中には、子どもたちの元気なあいさつの声がいっぱいになりました。

アンケート結果

三谷コミュニティー・スクールでは、1 月に行ったアンケートにおいて、子どもの「以前から挨拶をしている」割合は平均で 36% でしたが、「よくするようになった」「少しするようになった」というあいさつの質が向上した子どもの割合は、平均 54% と、合計で 90% に達したという結果を得ることができました。これは、「あいさつプロジェクト」の目標が一つ達成されたということで、マナーキッズテニスと鈴木総師範の授業が、その要因の一つであります。